

平成30年度

丹波篠山黒豆情報

台風対策臨時号 平成30年7月2日 篠山市・JA丹波ささやま・丹波農業改良普及センター

7月3日から4日にかけて、台風7号の接近による風雨害により、ほ場の冠水による生育停滞や黒大豆株の倒伏、茎葉の傷みなどが発生する恐れがあります。

台風の今後の進路に留意し、以下の点について対策を行ってください。

なお、人命第一の観点から、ほ場の見回り等については、気象情報を十分に確認し、大雨や強風が治まるまでは行わないでください。

【台風通過後の栽培管理】

- ① **停滞水がある場合は、排水溝や排水口の整備を行い、早急にほ場の排水を図る。**（立枯性病害の発生防止）
- ② 枝折れした傷口や、株の倒伏で泥のついたところから、病原菌が侵入しやすくなります。
風雨で茎葉がもまれた場合は、殺菌剤の散布を行い、斑点細菌病、紫斑病などの病気の予防に努める。
（防除薬剤） Zボルドー（水和剤） 500倍
- ③ 不用意にほ場に入ると枝折れを助長するので注意する。
- ④ 倒伏した株は、無理に起こさない。
- ⑤ 台風通過後、しおれた株や枯死株は抜き取りを行い、ほ場外へ持ち出し処分するとともに、補植を行う。